

授業科目 検査測定評価学

【担当教員名】 古 西 勇 他	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GIO】

理学療法の臨床において、検査測定評価の「思考」や「技術」は、対象者に実施する個別の治療の方針や枠組みを決定するために用いられる。この授業科目では、評価の概要、記録方法、病歴の取り方などについて理解し、各種検査測定法の基礎知識と手順を修得する。

【学習目標・行動目標：SB0】

1. 評価の概要（目的、過程、対象など）、記録方法、病歴の取り方について述べる。
2. 形態測定、知覚検査、関節可動域測定、脳神経検査、徒手筋力検査、反射検査について述べる。
3. 学生間で検査者と被検査者の役割を演じながら検査測定の手順に慣れる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	総論：評価の概要（目的、過程、対象など）、一般的評価（病歴の取り方など）	1	講義・小テスト 古西
2	各論1：形態測定（骨核系ランドマークの触診、肢長と周径の測定）	1	講義・演習・実技試験 古西、補助
3	各論2：脳神経検査、知覚（体性感覚）検査、反射検査	2,3	講義・演習・小テスト 古西
4	各論3：〃	2,3	講義・演習 古西
5	各論4：〃	2,3	講義・演習・小テスト 古西
6	各論5：〃	2,3	講義・演習 古西
7	各論6：関節可動域測定	2,3	講義・演習・実技試験 古西、補助
8	各論7：〃	2,3	講義・演習・実技試験 古西、補助
9	各論8：〃	2,3	講義・演習・実技試験 古西、補助
10	各論9：〃	2,3	講義・演習・実技試験 古西、補助
11	各論10：徒手筋力検査	2,3	講義・演習・小テスト 古西
12	各論11：〃	2,3	講義・演習・実技試験 古西、補助
13	各論12：〃	2,3	講義・演習・実技試験 古西、補助
14	各論13：〃	2,3	講義・演習・実技試験 古西、補助
15	まとめ（全体の流れの確認）	3	講義 古西

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	診察と手技がみえるvol.1 第2版	編集 古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300円
	新・徒手筋力検査法 第8版 (もう1冊、後日指定)	Hislop HJ 他	協同医書出版社	2008・7,875円
参考書	ベッドサイド神経の診かた第16版	田崎義昭	南山堂	2004・7,560円
	理学療法評価学 第2版	松澤正	金原出版	2004・6,510円
その他の資料				

【評価方法】

出席、小テスト（4回以上）、実技テスト（8回以上）、毎回の提出物、定期試験（筆記）、その他。

【履修上の留意点】

夏期休暇前に後期授業オリエンテーションを実施（後日、日時を掲示）し、休暇中の自己学習課題（小テストの範囲）を出し、授業を受ける際の服装などの注意事項を説明します。打鍵器と関節角度計、いくつかの小物（安全ピン、つまようじ、筆、ゼムクリップ、メジャーなど）を自分で購入・準備してもらいます。